

## 29年ぶりの渇水を乗り切る

～流域3ダム及び利水者が連携し、利水障害の発生を回避～

今年、月山ダムでは平成14年4月に管理に移行してから最大規模の記録的な渇水となり、特に8月は平成6年渇水時よりも極端に雨が少なく、29年振りの渇水による取水制限などが危惧されました。

しかし、赤川流域の荒沢ダム（山形県）、八久和ダム（東北電力株）及び利水者と連携し、連絡調整・協力体制により渇水を乗り切ることが出来ました。

- ・今年、平成6年渇水時よりも雨が少なく、29年振りの渇水による取水制限などが危惧されました。
- ・月山ダム流域では、8月の降水量が平年値の31%と極端に少なく、ダム管理開始以降、最小値を記録しました。
- ・月山ダムでは、8月以降の小雨により平成14年4月にダム管理開始以降、最低水位（7～9月の期間）を記録した。
- ・この状況が9月中旬まで続きましたが、赤川流域3ダム及び利水者が協力し、限られたダムの水を有効に補給することで、無事に渇水を乗り切ることができました。

〈発表記者会〉鶴岡記者会

お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 月山ダム管理所  
山形県鶴岡市上名川字東山 8-112  
管理所長 猿田 誠 内線(201)  
専門官 谷山 雅洋 内線(330)  
電話 0235-54-6711

# 29年ぶりの渇水を乗り切る

～流域3ダム及び利水者が連携し、利水障害の発生を回避～

○H6年渇水では、給水制限が発生するなど市民生活に影響が発生するとともに、河川環境の悪化が危惧された。

- ・水道の**時間断水**、**減圧給水**が発生。また学校の**プール使用制限**により、水泳大会の中止も発生。
- ・赤川の熊出付近で**瀬切れが発生**し、魚類の生息など河川環境の悪化が危惧された。

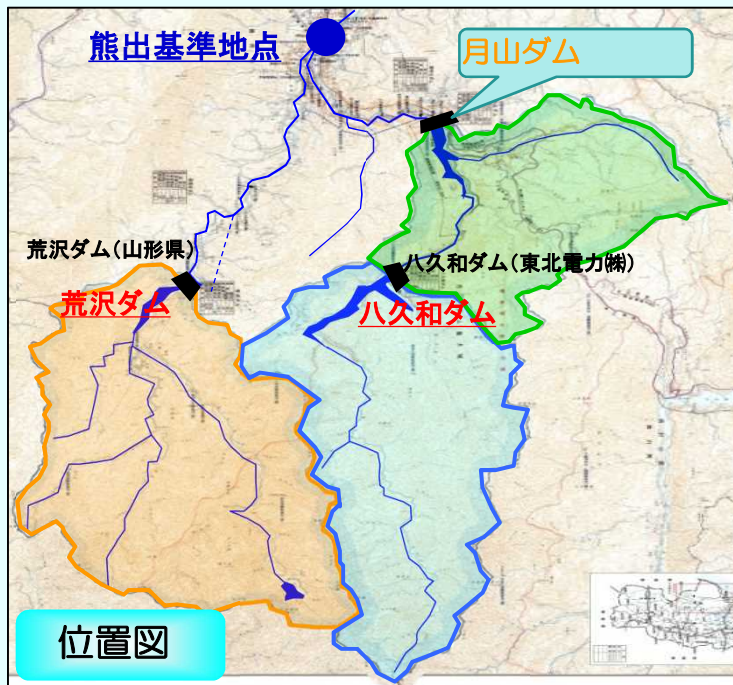
○今年も、**H6渇水時より少雨のため**、当時より厳しい給水制限など、市民生活に影響を与える可能性があります。

○赤川流域において降水量が少ない傾向にあり、月山ダム流域の8月の累積雨量は平年値に対して31%となり、管理開始(H14.4)以降で最小を記録。

○7月下旬から降雨が少なく、9月19日には貯水位が7～9月としてはダム管理開始以降で第1位となる221.13m【利水容量内貯水率27.8%】まで低下。(既往の最低はH27年9月4日の231.97m)。

○赤川流域の月山ダム(国)、荒沢ダム(山形県)、八久和ダム(東北電力株)及び利水者と連携をして、必要な水量を確保し、赤川の流水の正常な機能を維持するために必要な水量である正常流量(熊出水位観測所地点で5m<sup>3</sup>/s)を供給し続けました。

○結果として、ダム管理開始以降の最大規模となった今回の渇水において、深刻な被害は発生しませんでした。



# 29年ぶりの渇水を乗り切る ～流域3ダム及び利水者が連携し、利水障害の発生を回避～

## ■平成6年渇水と令和5年渇水の比較

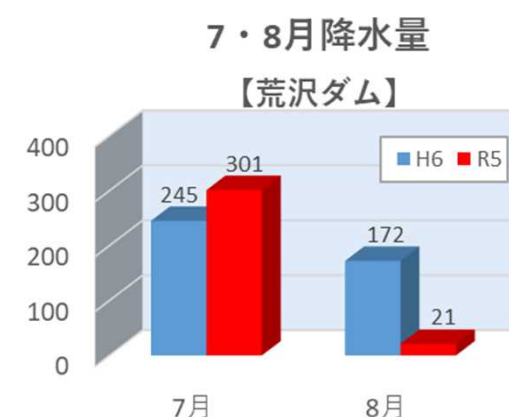
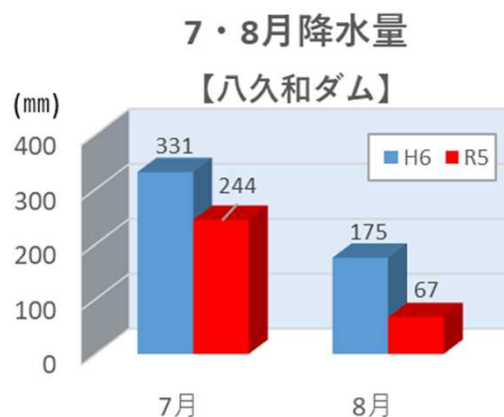
| 施設など  | 平成6年渇水状況・対応                                 | 令和5年渇水状況・対応                |
|-------|---|----------------------------|
| 水道用水  | ・旧鶴岡市で減圧給水 5～6% (7/15～8/22)                 | ・減圧給水や断水なし                 |
|       | ・旧羽黒町で4時間断水 (7/20)                          |                            |
|       | ・旧羽黒町で2時間断水 (7/21)                          |                            |
|       | ・旧羽黒町で減圧給水50% (7/21～7/26)                   |                            |
|       | ・旧羽黒町で減圧給水10% (7/26～7/28)                   |                            |
|       | ・旧藤島町で減圧給水20～30% (7/21～8/20)                |                            |
|       | ・月山水道企業団 (三川町、旧藤島町) で減圧給水20～30% (7/15～8/22) |                            |
| 農業用水  | ・旧鶴岡市で農業取水制限                                | ・取水制限なし                    |
|       | ・旧藤島町で農業取水制限                                |                            |
| 赤川頭首工 | ・許可水利量に対する取水量 約55%に減少                       | ・許可水利量に対する取水量 約60%に減少 (8月) |



平成6年8月\_瀨切れ状況(熊出付近)



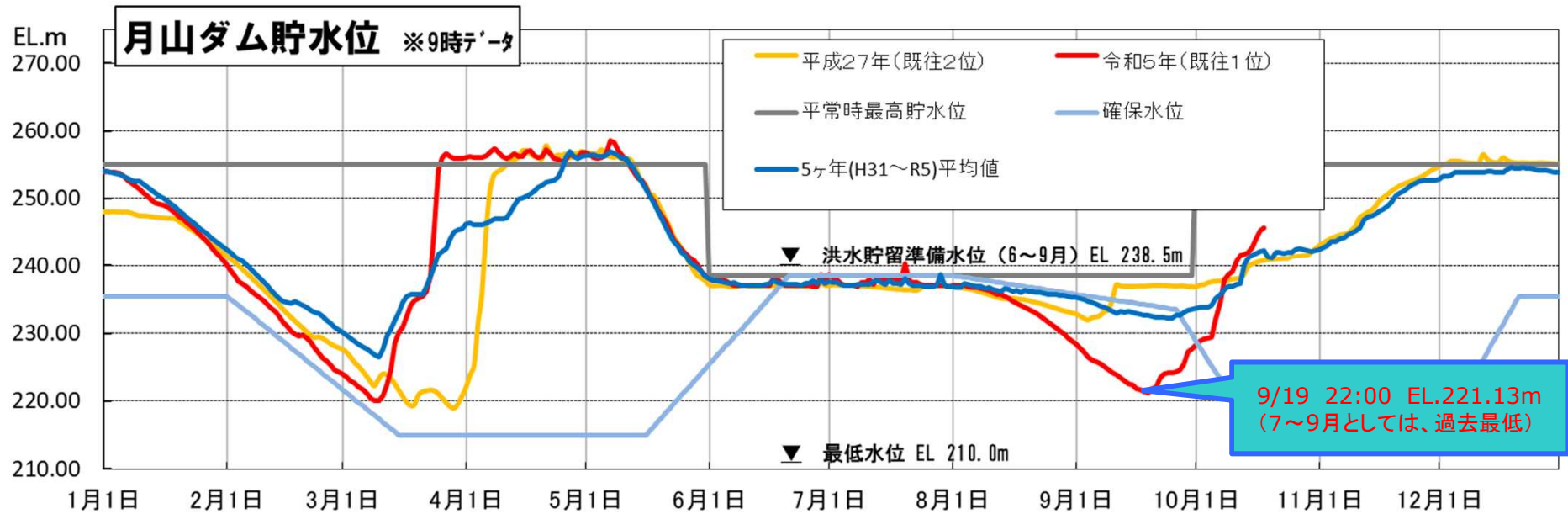
平成6年渇水当時の荒沢ダム



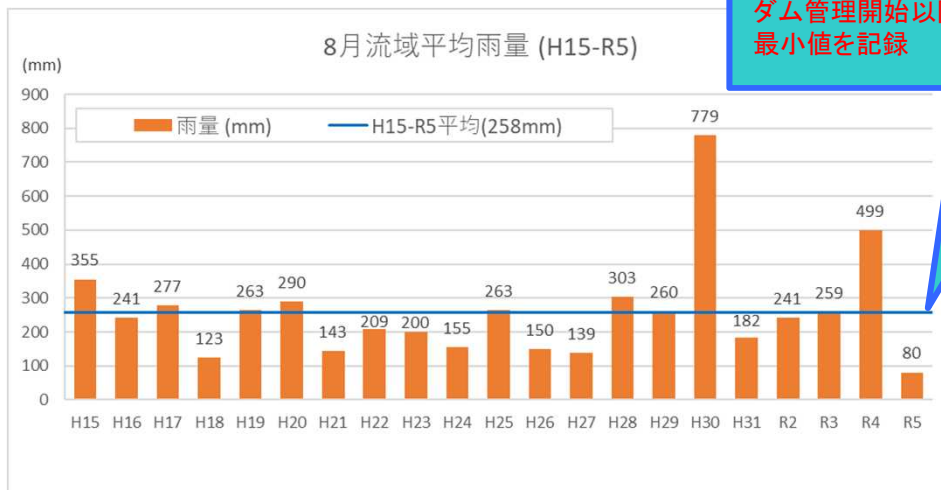
令和5年の特に8月は、平成6年に比べて極端に雨が少なかった

# 29年ぶりの渇水を乗り切る

～流域3ダム及び利水者が連携し、利水障害の発生を回避～



〔月山ダム流域の8月累積雨量〕



R5年8月雨量は80mm  
(平年値の31%)  
ダム管理開始以降の22年間で  
最小値を記録



貯水位低下時の月山ダム貯水池〔9月14日撮影〕



# 29年ぶりの渇水を乗り切る

## ～流域3ダム及び利水者が連携し、利水障害の発生を回避～

### ◆流域3ダム及び利水者の取り組み

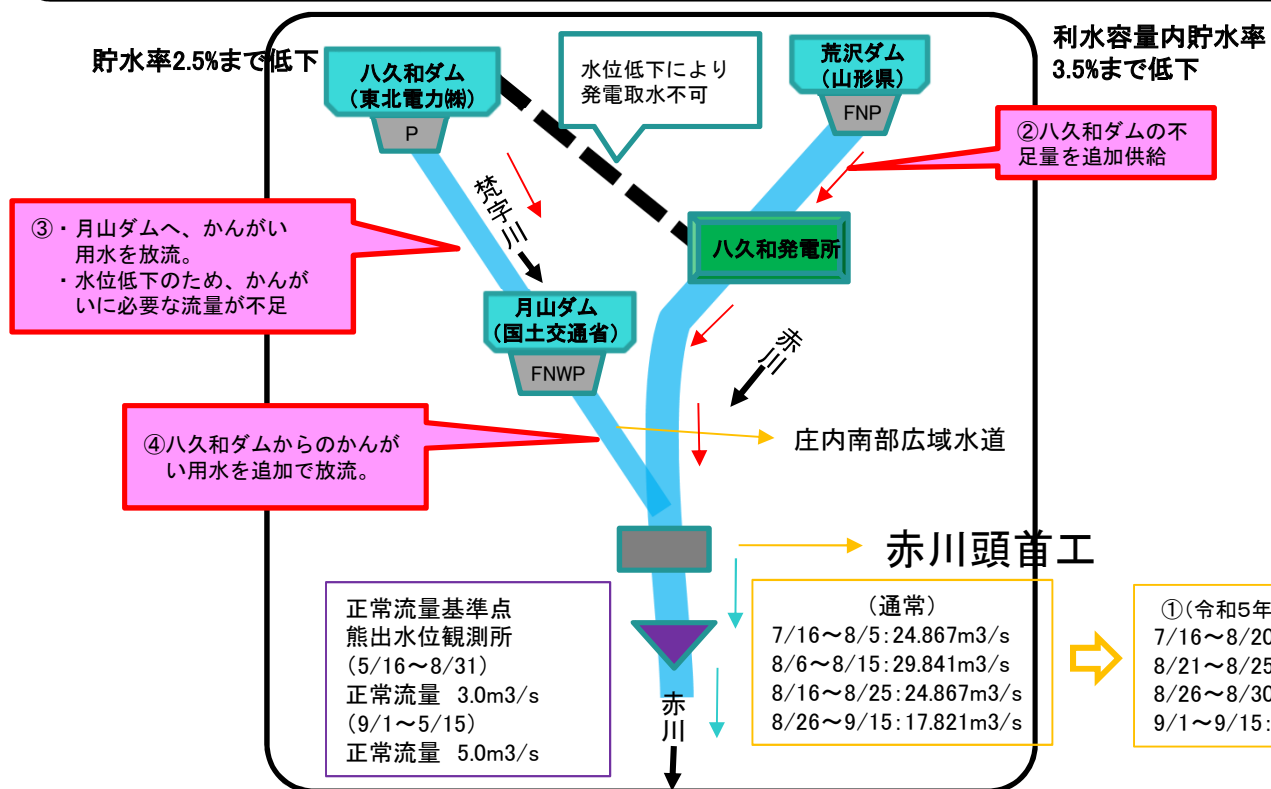
○流域3ダム(月山ダム、荒沢ダム、八久和ダム)と利水者が連携して連絡調整と協力体制の強化を実施。

・2度の赤川水利調整専門部会を開催(事務局:山形県庄内総合支庁)

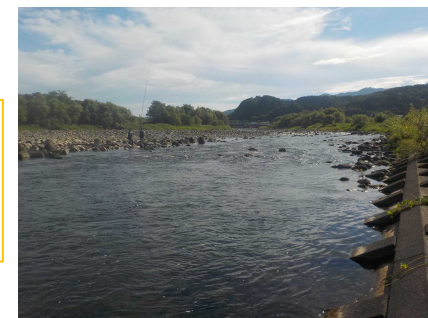
- ①庄内赤川土地改良区で赤川頭首工の取水量を減量調整。
- ②八久和ダムからのかんがい用水供給の不足量を、荒沢ダムで追加供給。
- ③八久和ダムから赤川本川への発電放流ができなくなったため、下流の月山ダムを経由してかんがい用水を供給。
- ④八久和ダム、荒沢ダムでかんがい用水を供給できない時は、河川維持流量確保の観点から月山ダムで供給することで調整。

### ◆月山ダムからの利水補給による効果

- 庄内南部地域(鶴岡市、三川町、庄内町)の給水人口最大約189,000人の水道水を確保し、**安定的な水道用水供給に寄与。**
- 月山ダム下流へ河川維持流量を供給し、流れを確保して**魚類等の河川環境を保全。**



〔赤川水利調整専門部会(第2回)の開催状況〕



R5\_流路の確保状況(熊出地点)

※1 F:洪水調節 N:河川の正常な流量の維持 W:上水道 P:発電

※2 八久和ダムは発電のほかに庄内地域のかんがい用水を供給する役割を担っている。